

特集「ユビキタスコンピューティングシステム (III)」の編集にあたって

中 島 秀 之^{†1}

ユビキタスコンピューティングは情報技術で人の日常生活を支援することを研究する分野です。そのため関連する技術の幅が広く、センシング、情報理論、ネットワーク、モバイルコンピューティング、ミドルウェア、インタラクションおよび各種アプリケーション技術など多方面の学術的工的分野を融合して成り立つものです。基礎理論からプラットフォーム、さらにはアプリケーションにいたるまでの研究分野として大きく成長しています。出口指向の強いことが本分野の特徴です。

ユビキタスコンピューティングに関する国際会議 Ubicomp, Pervasive, 情報処理学会のユビキタスコンピューティングシステム研究会をはじめ、多くの関連学会でユビキタスコンピューティングに関するセッションやワークショップが多く設けられています。最近では環境知能 (Ambient Intelligence) に関する会議もさかんになりつつあります。

そこで、本分野の優れた論文を一括掲載して情報処理学会会員に有意義な情報を提供するとともに、本分野の発展に寄与することを目的として、「ユビキタスコンピューティングシステム (III)」と題する特集号を企画いたしました。

本特集号には、合計 25 編の投稿があり、審査の過程で 2 編取り下げがありましたが、最終的に 6 編の論文が採択されました。採択された論文のテーマとしては、センサシステムからインタフェース、そして周辺分野であるロボットに関するものまで、ユビキタスコンピューティングシステムに関する高度でかつ多方面の論文を掲載できたと考えております。不採録になった論文には、新しいインタフェースに関するアイデアに優れたものや、都市生活を支える社会システムに関するものがありましたが、主張を裏付ける実験や評価が不足している傾向が多々見受けられました。本分野における評価や有効性を実証することは容易で

はありませんが、再検討、再評価をし、再投稿いただくことを切望いたします。

最後に、本特集号の機会を与えていただいた論文誌編集委員会と、多忙にもかかわらず迅速で丁寧な査読にご尽力いただいた特集号編集委員、論文査読者の各位に感謝いたします。

「ユビキタスコンピューティングシステム (III)」特集号編集委員

- 編集長
中島秀之 (公立はこだて未来大学)
- 幹事
角 康之 (京都大学), 高汐一紀 (慶應義塾大学)
- 編集委員
今井尚樹 (KDDI 研究所), 植原啓介 (慶應義塾大学), 大内一成 (東芝), 岡留 剛 (関西学院大学), 亀田能成 (筑波大学), 河口信夫 (名古屋大学), 川島英之 (筑波大学), 川原圭博 (東京大学), 國頭吾郎 (NTT ドコモ), 車谷浩一 (産業技術総合研究所), 笹嶋宗彦 (大阪大学), 椎尾一郎 (お茶の水女子大学), 丹 康雄 (北陸先端科学技術大学院大学), 寺田 努 (神戸大学), 徳田英幸 (慶應義塾大学), 戸田真志 (公立はこだて未来大学), 戸辺義人 (東京電機大学), 中西英之 (大阪大学), 西尾信彦 (立命館大学), 山下直美 (NTT)

^{†1} 公立はこだて未来大学
Future University Hakodate